

第2章 高齢者を取り巻く状況

1 横須賀市の高齢者の現状

昭和20年から平成の初めまで、日本の人口増加に伴い、本市の市街地は郊外に拡散し、丘の上や沿岸部には住宅団地や大規模な新市街地が開発整備されてきました。

しかし、今日では子どもが独立し、高齢となった夫婦やひとり暮らしの高齢者の住まいが、高台にある住宅団地や日常生活に負担のある谷戸地域に目立つようになっていきます。

(1) 高齢者人口

本市の総人口は、平成4年以降年々減少していますが、高齢者人口は増加を続け、総人口に占める割合も高まっています。

図表2 年齢3区分の推移

(各年10月1日)

区 分	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)
総人口	432,193人 100.0%	428,645人 100.0%	426,178人 100.0%	418,325人 100.0%
年少人口 (0～14歳)	61,165人 14.2%	56,940人 13.3%	55,085人 12.9%	51,670人 12.4%
生産年齢人口 (15～64歳)	310,247人 71.8%	296,241人 69.1%	281,732人 66.1%	261,078人 62.4%
高齢者人口 (65歳以上)	60,725人 14.1%	74,760人 17.4%	89,292人 21.0%	105,576人 25.2%

※総人口には年齢不詳を含むため、3区分の計と一致しません。

資料：国勢調査

(2) 高齢者のいる世帯の状況

平成22年10月1日現在の横須賀市内の総世帯数は約16万4,000世帯です。そのうち高齢者のいる世帯は約7万世帯で、全体の約43%を占めています。

また、高齢者のいる世帯に占める「単独世帯」や「夫婦のみの世帯」も増加の傾向を示しており、地域での見守りや生活支援などの支え合いが必要です。

図表3 世帯の状況

(各年10月1日)

区 分	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)
総世帯数	147,883世帯	156,316世帯	160,945世帯	164,362世帯
一世帯当たり人員	2.85人	2.68人	2.57人	2.46人
高齢者のいる世帯数	43,905世帯	52,959世帯	60,967世帯	70,067世帯
(高齢者のいる世帯の割合)	(29.7%)	(33.9%)	(37.9%)	(42.6%)
単独世帯	7,566世帯	10,998世帯	13,659世帯	17,374世帯
(総世帯数に対する割合)	(5.1%)	(7.0%)	(8.5%)	(10.6%)
(高齢者のいる世帯数に対する割合)	(17.2%)	(20.8%)	(22.4%)	(24.8%)
夫婦のみの世帯	11,924世帯	15,981世帯	19,292世帯	22,491世帯
(総世帯数に対する割合)	(8.1%)	(10.2%)	(12.0%)	(13.7%)
(高齢者のいる世帯数に対する割合)	(27.2%)	(30.2%)	(31.6%)	(32.1%)
その他の世帯	24,415世帯	25,980世帯	28,016世帯	30,202世帯
(総世帯数に対する割合)	(16.5%)	(16.6%)	(17.4%)	(18.4%)
(高齢者のいる世帯数に対する割合)	(55.6%)	(49.1%)	(46.0%)	(43.1%)

資料：国勢調査

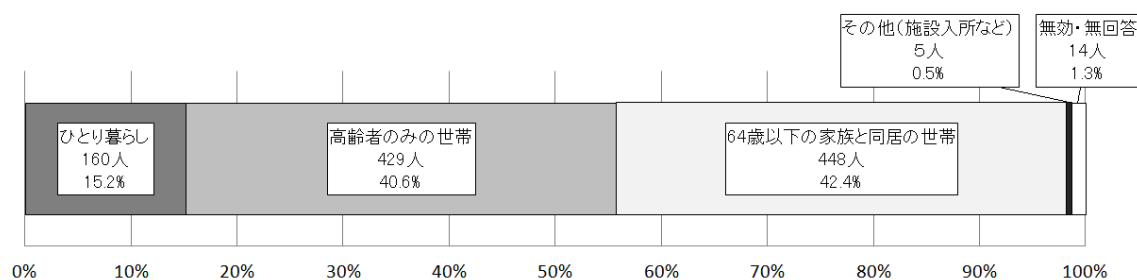
(3) アンケート調査結果から見る高齢者の状況

ここでは、平成25年度に実施した「高齢者福祉に関するアンケート調査」と「介護保険に関するアンケート調査」の結果をもとに高齢者の状況を表します。

① 高齢者の世帯構成

「ひとり暮らし高齢者」および「高齢者のみの世帯」の占める割合が、全体の過半数を超えています。

図表4 高齢者の世帯構成

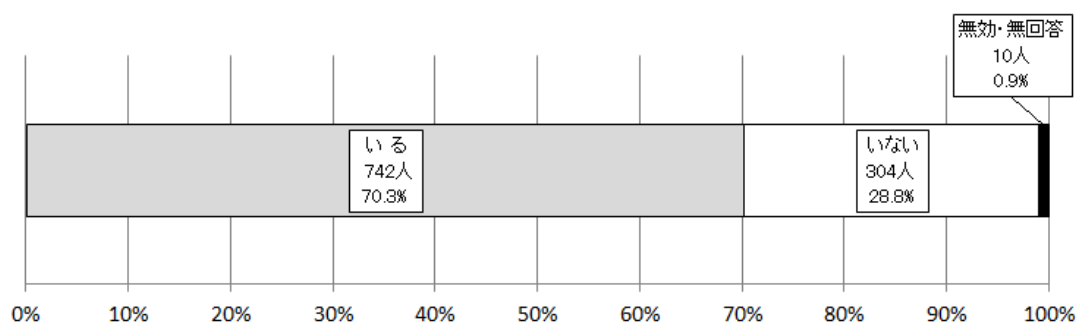


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果より作成（回答者数1,056人）

② 日中の状況

高齢者の住まいの日中の状況では、約3割の人が、日中、家には自分のほかに誰もいないと回答しています。

図表5 日中の住まいに、自分のほかに誰がいるか

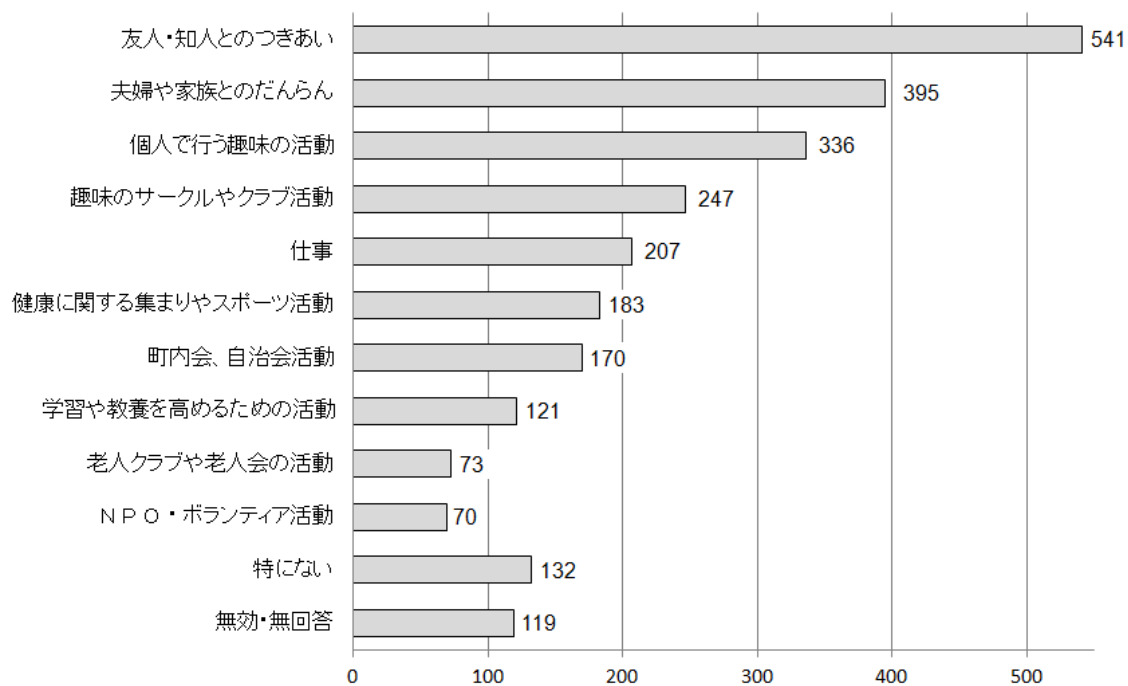


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果より作成（回答者数1,056人）

③ 日常生活について

日常の過ごし方については、友人や家族と過ごす時間が最も多く、次に個人やサークルでの趣味の活動時間となっています。

図表6 日常の過ごし方（複数回答）

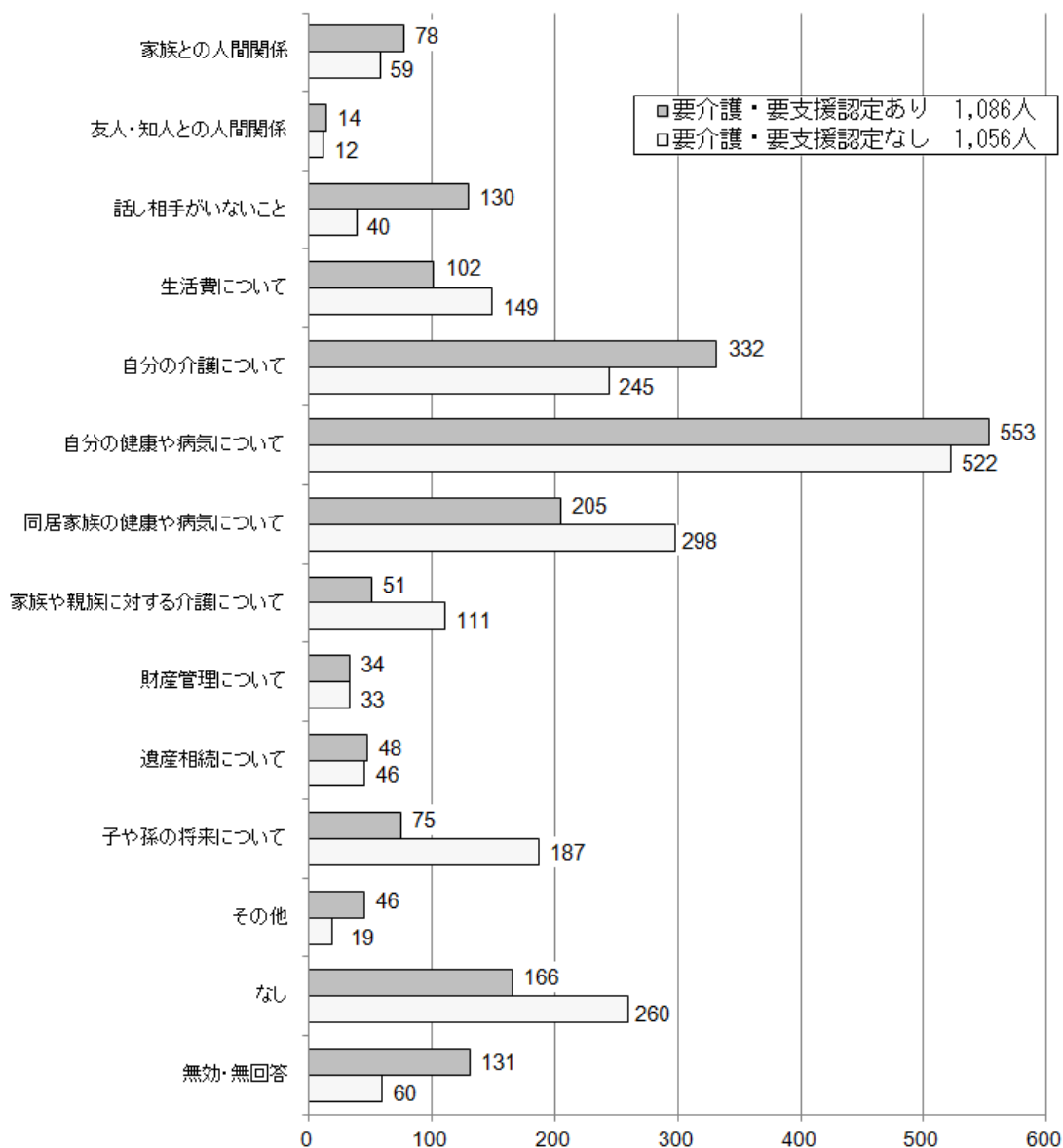


資料：高齢者福祉に関するアンケート結果より作成（回答者数1,056人）

④ 心配ごと・悩み

現在の心配ごと・悩みでは、「自分の健康や病気について」、「同居家族の健康や病気について」および「自分の介護について」の回答が多くなっています。

図表7 今の心配ごと（複数回答）

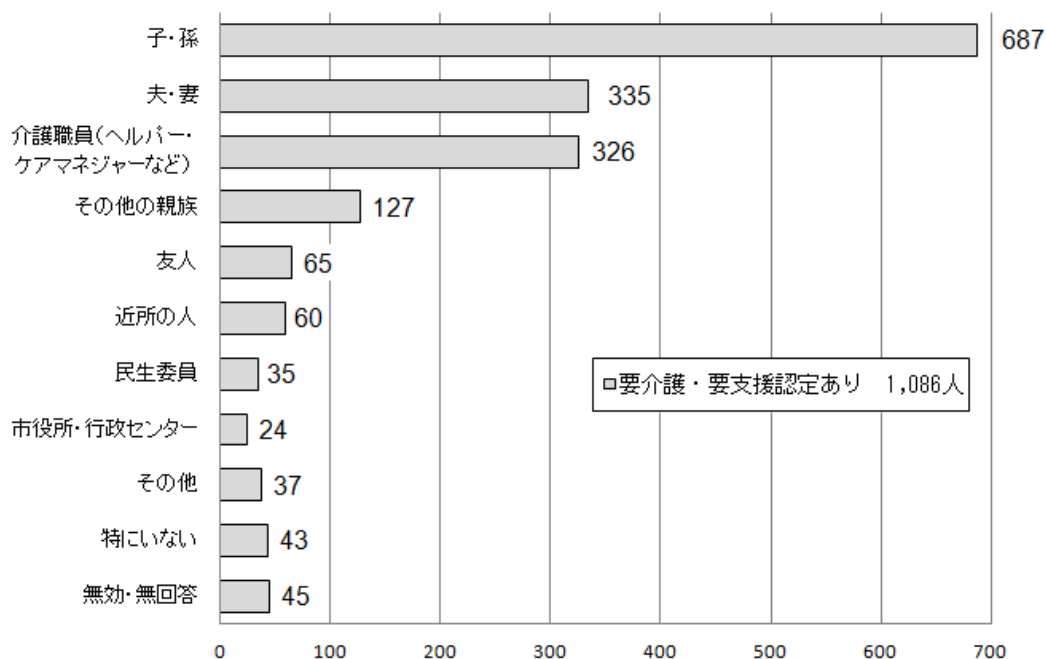


資料：介護保険に関するアンケート結果より作成（回答者数1,086人）

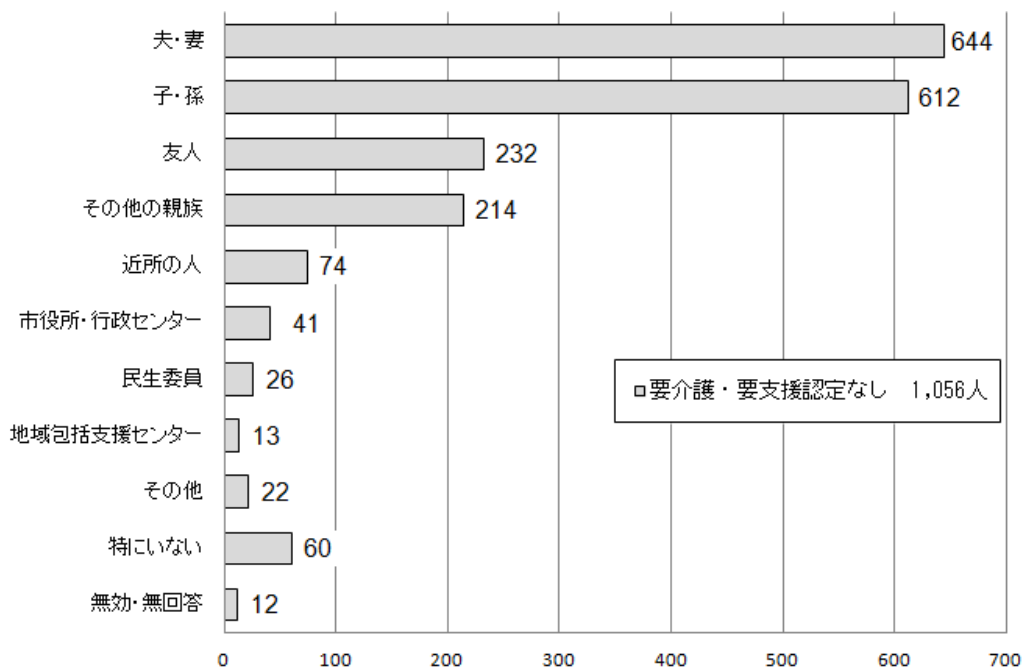
高齢者福祉に関するアンケート結果より作成（回答者数1,056人）

また、困ったときの相談相手は、「夫・妻」、「子・孫」の回答が多くなっていますが、要介護・要支援認定を受けている人は「介護職員」との回答も多くなっています。

図表8 困ったときの相談相手（複数回答）



資料：介護保険に関するアンケート結果より作成（回答者数1,086人）



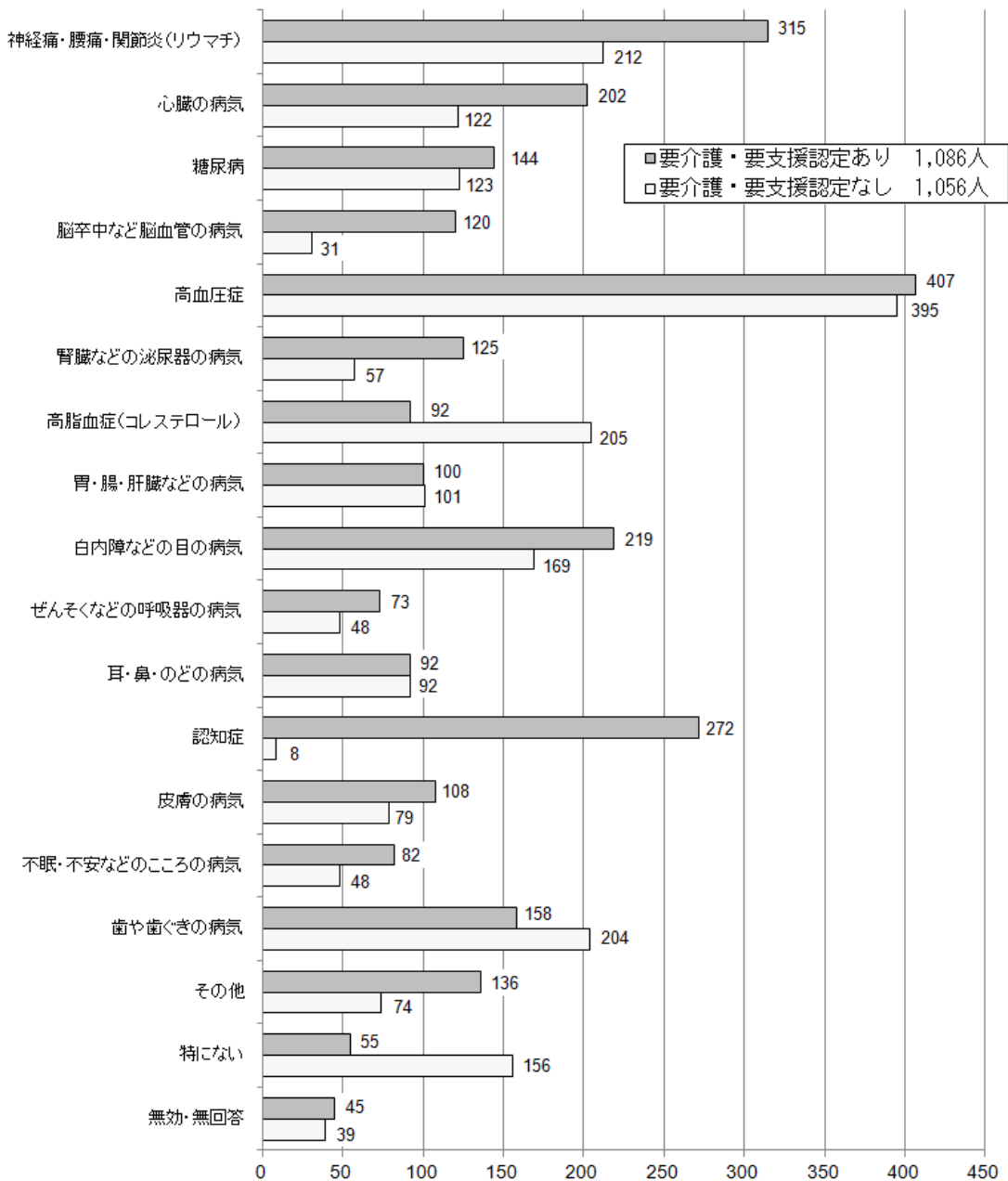
資料：高齢者福祉に関するアンケート結果より作成（回答者数1,056人）

※介護保険に関するアンケートと、高齢者福祉に関するアンケートとは、選択肢が異なります。

⑤ 治療中の病気について

複数の疾患で治療を受けている様子がうかがえます。全体的に「高血圧症」、「腰痛・関節疾患」の人が多く見られますが、要介護・要支援認定を受けている人の中では、「認知症」や「脳血管疾患」の人の割合が高い状況にあります。

図表9 現在、治療中の病気（複数回答）



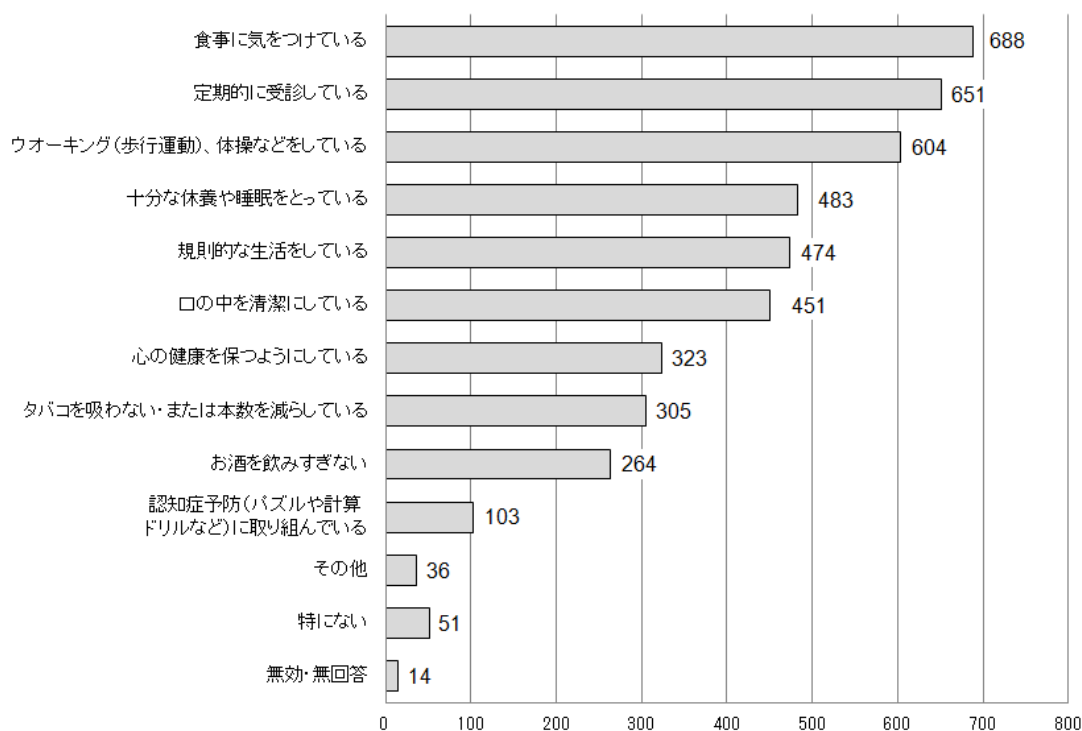
資料：介護保険に関するアンケート結果より作成（回答者数1,086人）

高齢者福祉に関するアンケート結果より作成（回答者数1,056人）

⑥ 健康への心掛け・取り組み

健康を維持するための心掛けとしては「食事に気をつけている」、「定期的に受診している」、「ウォーキングや体操をしている」の回答が多く、意識的な取り組みが見られます。

図表 10 健康への心掛け（複数回答）



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果より作成（回答者数1,056人）

2 横須賀市の介護保険の状況

(1) 要介護・要支援認定者数の推移

各介護度別の要介護・要支援認定者数の推移は、以下のとおりです。

図表11 要介護・要支援認定者数の推移

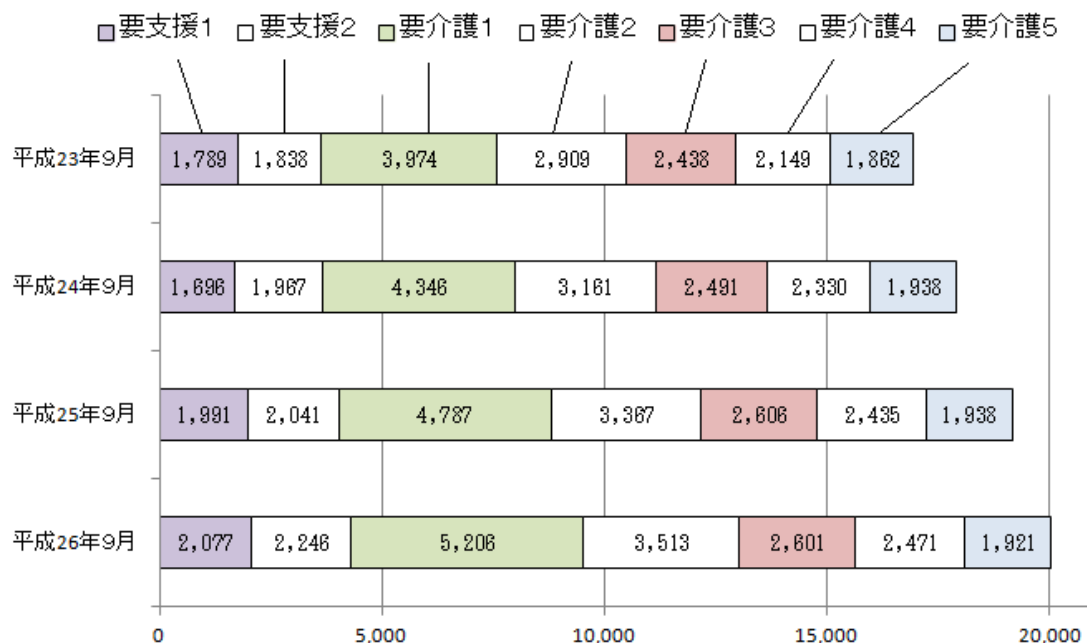
(各月末日現在) (単位:人・%)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
平成23年	1,789	1,838	3,974	2,909	2,438	2,149	1,862	16,959
9月	10.5	10.8	23.4	17.2	14.4	12.7	11.0	100.0
平成24年	1,696	1,967	4,346	3,161	2,491	2,330	1,938	17,929
9月	9.5	11.0	24.2	17.6	13.9	13.0	10.8	100.0
平成25年	1,991	2,041	4,787	3,367	2,606	2,435	1,938	19,165
9月	10.4	10.6	25.0	17.6	13.6	12.7	10.1	100.0
平成26年	2,077	2,246	5,206	3,513	2,601	2,471	1,921	20,035
9月	10.4	11.2	26.0	17.5	13.0	12.3	9.6	100.0

表中下段は、その時点の要介護・要支援認定者全数に対する各介護度別人数の割合(%)

図表12 要介護・要支援認定者数の推移

(各年9月末現在) (単位:人)



(2) 介護保険サービス利用状況

第5期(平成24～26年度)の介護保険の保険給付(サービス)は以下のとおりです。

図表13 保険給付(介護給付・予防給付)

区分	サービス	予防給付	サービスの内容
居宅介護サービス／介護予防サービス	訪問介護 (ホームヘルプ)	※	訪問介護員(ホームヘルパー)が居宅を訪問し、食事・排せつ・入浴等の身体介護や、掃除・洗濯・買い物・調理等の生活援助を行う。通院等のため、乗降車・移送の介助サービスを提供する事業所もある。
	訪問入浴介護	※	看護職員と介護職員が居宅を訪問し、持参した浴槽によって入浴の援助を行う。
	訪問看護	※	看護師等が疾患のある利用者の居宅を訪問し、主治医の指示に基づいて療養上の世話や診療の補助を行う。
	訪問リハビリテーション	※	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等が居宅を訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けた訓練を行う。
	居宅療養管理指導	※	医師、歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士等が在宅で療養していて、通院が困難な利用者の居宅を訪問し療養上の管理や指導、助言等を行う。
	通所介護 (デイサービス)	※	デイサービスセンター等の施設で、食事や入浴等の日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練、口腔機能向上サービス等を日帰りで提供する。
	通所リハビリテーション	※	医療機関や介護老人保健施設等で、食事や入浴等の日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練、口腔機能向上サービス等を日帰りで提供する。
	短期入所生活介護 (ショートステイ)	※	特別養護老人ホーム等が、介護が必要な人の短期入所を受け入れ、入浴や食事等の日常生活上の支援や機能訓練等を提供する。
	短期入所療養介護 (ショートステイ)	※	医療機関や介護老人保健施設等が、常に療養が必要な人の短期間の入所を受け入れ、入浴や食事等の日常生活上の支援や、機能訓練等を提供する。
	特定施設入居者生活介護	※	指定を受けた有料老人ホームや軽費老人ホーム等が、食事や入浴等の日常生活上の支援や、機能訓練等を提供する。
	福祉用具貸与	※	指定を受けた事業者が、利用者の心身の状況、希望およびその生活環境等を踏まえ、適切な福祉用具を選ぶための援助・取り付け・調整等を行い、福祉用具を貸与する。
	特定福祉用具販売	※	指定を受けた事業者が、入浴や排せつに用いる、貸与になじまない福祉用具を販売する。
	住宅改修	※	要介護者の心身や住宅の状況から必要と認められた場合、手すりの取り付け等の住宅改修に対して、20万円を上限に改修費用の9割を給付する。
居宅介護支援／ 介護予防支援	※	介護支援専門員(ケアマネジャー)が、利用者の心身の状況、生活環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、事業者や関係機関との連絡・調整を行う。	

図表13 (続き)

地域密着型介護サービス／地域密着型介護予防サービス	夜間対応型訪問介護		夜間帯に訪問介護員が利用者の自宅を訪問し、排せつの介助や安否確認などのサービスを行う「定期巡回」と、夜間に急に体調が悪くなった時などに、通報により緊急時の対応を行う「随時対応」の2種類のサービスを提供する。
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、訪問介護サービス並びに訪問看護サービスを適宜適切に組み合わせ、利用者に必要なサービスを必要なタイミングで提供する。
	複合型サービス (看護小規模多機能型居宅介護)		利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問(介護)」に加えて、看護師などによる「訪問(看護)」も組み合わせることで、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、介護と看護の一体的なサービスを提供する。
	認知症対応型通所介護	※	認知症の利用者に対し通所介護の施設(デイサービスセンターやグループホームなど)において、食事や入浴等の日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練、口腔機能向上サービス等を日帰りで提供する。
	小規模多機能型居宅介護	※	利用者の選択に応じて、施設への「通い」を中心として、短期間の「宿泊」や利用者の自宅への「訪問介護」を組み合わせ、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、日常生活上の支援や機能訓練等を提供する。
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	※1	認知症の利用者に対しグループホームにおいて、家庭的な環境と地域住民との交流の下で、食事や入浴等の日常生活上の支援や機能訓練等を提供する。
	地域密着型特定施設入居者生活介護		指定を受けた入居定員30人未満の有料老人ホームや軽費老人ホーム等が、食事や入浴等の日常生活上の支援や、機能訓練等を提供する。
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護		指定を受けた入所定員30人未満の介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)が、常に介護が必要な方の入所を受け入れ、食事や入浴等の日常生活上の支援や、機能訓練等を提供する。
施設サービス	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)		常に介護が必要な方の入所を受け入れ、食事や入浴等の日常生活上の支援や、機能訓練等を提供する。
	介護老人保健施設		在宅復帰を目指している方の入所を受け入れ、入所者が可能な限り自立した日常生活を送ることができるよう、機能訓練や必要な医療、介護等を提供する。
	介護療養型医療施設		長期にわたって療養が必要な方の入所を受け入れ、入所者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、機能訓練や必要な医療、介護等を提供する。

※：予防給付(要支援1・2の人が利用できるサービス)があるもの。

※1：要支援1の人は対象外。

また、それぞれのサービスの利用状況は次ページのとおりです。

図表14 介護サービスの利用実績(事業量)

(単位:件・回・日)

区分	単位	平成24年度			平成25年度		
		計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
居宅サービス							
訪問介護	回	564,046	611,891	108.5%	587,187	616,844	105.1%
訪問入浴介護	回	37,292	36,335	97.4%	38,724	37,803	97.6%
訪問看護	回	68,533	63,120	92.1%	71,268	74,077	103.9%
訪問リハビリテーション	回	6,003	5,082	84.7%	6,250	6,505	104.1%
居宅療養管理指導	件	32,328	36,645	113.4%	33,655	42,409	126.0%
通所介護	回	379,952	427,259	112.5%	395,743	450,877	113.9%
通所リハビリテーション	回	72,673	72,327	99.5%	75,723	75,824	100.1%
短期入所生活介護	日	155,012	126,987	81.9%	157,284	121,561	77.3%
短期入所療養介護	日	7,680	6,341	82.6%	8,011	6,443	80.4%
特定施設入居者生活介護	件	8,796	8,861	100.7%	9,624	9,736	101.2%
福祉用具貸与	件	49,986	53,550	107.1%	52,075	57,466	110.4%
地域密着型サービス							
夜間対応型訪問介護	件	0	0	0.0%	0	0	0.0%
定期巡回・随時対応型 訪問介護・看護	件	0	0	0.0%	270	37	13.7%
認知症対応型通所介護	回	22,857	26,657	116.6%	24,969	32,258	129.2%
認知症対応型 共同生活介護	件	7,704	7,494	97.3%	7,704	7,674	99.6%
小規模多機能型居宅介護	件	918	554	60.3%	1,224	677	55.3%
複合型サービス(看護小規 模多機能型居宅介護)	件	0	0	0.0%	150	0	0.0%
特定福祉用具販売	件	1,512	1,377	91.1%	1,575	1,467	93.1%
住宅改修	件	985	998	101.3%	1,024	1,105	107.9%
居宅介護支援	件	93,152	94,866	101.8%	96,978	101,934	105.1%
施設サービス							
介護老人福祉施設	件	23,868	22,843	95.7%	24,936	24,172	96.9%
介護老人保健施設	件	13,560	13,014	96.0%	13,560	13,248	97.7%
介護療養型医療施設	件	1,680	1,559	92.8%	1,680	1,428	85.0%

※「計画」は、第5期介護保険事業計画を指す。

図表15 介護予防サービスの利用実績(事業量)

(単位:件・回・日)

区 分	単位	平成24年度			平成25年度		
		計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
居宅サービス							
介護予防訪問介護	件	8,344	6,768	81.1%	8,638	6,613	76.6%
介護予防訪問入浴介護	回	8	35	437.5%	8	32	400.0%
介護予防訪問看護	回	210	313	149.0%	217	307	141.5%
介護予防 訪問リハビリテーション	回	143	101	70.6%	148	134	90.5%
介護予防居宅療養管理指導	件	1,745	1,646	94.3%	1,806	1,881	104.2%
介護予防通所介護	件	16,023	15,330	95.7%	17,102	16,604	97.1%
介護予防 通所リハビリテーション	件	2,392	2,115	88.4%	2,476	2,045	82.6%
介護予防短期入所生活介護	日	1,942	1,193	61.4%	1,961	812	41.4%
介護予防短期入所療養介護	日	40	6	15.0%	40	43	107.5%
介護予防特定施設入居者 生活介護	件	1,716	1,300	75.8%	1,872	1,354	72.3%
介護予防福祉用具貸与	件	4,679	4,220	90.2%	4,844	4,682	96.7%
特定介護予防福祉用具販売	件	341	264	77.4%	353	274	77.6%
介護予防住宅改修	件	381	405	106.3%	394	442	112.2%
介護予防支援	件	26,708	22,442	84.0%	27,643	24,402	88.3%
地域密着型サービス							
介護予防認知症対応型 通所介護	回	84	14	16.7%	87	0	0.0%
介護予防認知症対応型 共同生活介護	件	36	20	55.6%	36	5	13.9%
介護予防小規模多機能型 居宅介護	件	36	40	111.1%	48	57	118.8%

※「計画」は、第5期介護保険事業計画を指す。

図表16 介護サービスの利用実績（給付費）

(単位:千円)

区 分	平成 24 年度			平成 25 年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
居宅サービス	11,354,712	10,461,470	92.1%	11,993,253	11,847,150	98.8%
訪問介護	2,596,028	2,586,521	99.6%	2,728,546	2,707,688	99.2%
訪問入浴介護	454,581	442,737	97.4%	476,712	460,774	96.7%
訪問看護	567,104	507,931	89.6%	595,483	580,204	97.4%
訪問リハビリテーション	30,333	29,818	98.3%	31,891	37,716	118.3%
居宅療養管理指導	244,054	266,458	109.2%	256,616	304,427	118.6%
通所介護	3,020,257	3,072,608	101.7%	3,177,863	3,416,707	107.5%
通所リハビリテーション	661,879	649,470	98.1%	696,787	677,863	97.3%
短期入所生活介護	1,325,782	1,055,245	79.6%	1,358,394	1,003,208	73.9%
短期入所療養介護	78,566	66,723	84.9%	82,763	67,509	81.6%
特定施設入居者生活介護	1,672,170	1,659,022	99.2%	1,847,688	1,827,577	98.9%
福祉用具貸与	703,958	724,937	103.0%	740,510	763,476	103.1%
地域密着型サービス	2,420,710	2,336,049	96.5%	2,618,155	2,427,605	92.7%
夜間対応型訪問介護	0	0	0.0%	0	0	0.0%
定期巡回・随時対応型 訪問介護・看護	0	0	0.0%	54,000	3,888	7.2%
認知症対応型通所介護	258,413	314,059	121.5%	285,095	344,034	120.7%
認知症対応型共同生活介護	1,968,270	1,915,719	97.3%	1,987,797	1,953,272	98.3%
小規模多機能型居宅介護	194,027	106,271	54.8%	261,263	126,411	48.4%
複合型サービス（看護小規模 多機能型居宅介護）	0	0	0.0%	30,000	0	0.0%
特定福祉用具販売	40,088	36,342	90.7%	42,174	38,098	90.3%
住宅改修	100,711	92,245	91.6%	105,695	102,721	97.2%
居宅介護支援	1,318,459	1,334,043	101.2%	1,386,505	1,418,644	102.3%
施設サービス	10,295,823	9,647,607	93.7%	10,682,061	10,059,953	94.2%
介護老人福祉施設	6,120,061	5,753,035	94.0%	6,464,956	6,145,056	95.1%
介護老人保健施設	3,592,430	3,368,578	93.8%	3,627,998	3,437,179	94.7%
介護療養型医療施設	583,332	525,994	90.2%	589,107	477,718	81.1%
総 計	25,530,503	24,507,757	96.0%	26,827,843	25,894,171	96.5%

※ 端数処理をしているため、合算した数値は一致しない場合があります。

※ 「計画」は、第5期介護保険事業計画を指す。

図表17 介護予防サービスの利用実績（給付費）

(単位：千円)

区 分	平成24年度			平成25年度		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比
居宅サービス	957,827	864,967	90.3%	1,025,060	901,963	88.0%
介護予防訪問介護	138,347	105,953	76.6%	144,641	99,530	68.8%
介護予防訪問入浴介護	59	255	432.2%	68	268	394.1%
介護予防訪問看護	1,638	2,225	135.8%	1,709	2,394	140.1%
介護予防 訪問リハビリテーション	610	644	105.6%	637	804	126.2%
介護予防居宅療養管理指導	13,496	13,212	97.9%	14,107	14,237	100.9%
介護予防通所介護	541,096	524,746	97.0%	581,867	567,061	97.5%
介護予防 通所リハビリテーション	94,197	84,231	89.4%	98,483	78,705	79.9%
介護予防短期入所生活介護	11,327	7,711	68.1%	11,553	5,036	43.6%
介護予防短期入所療養介護	238	47	19.7%	245	390	159.2%
介護予防 特定施設入居者生活介護	138,668	111,483	80.4%	152,772	116,854	76.5%
介護予防福祉用具貸与	18,151	14,460	79.7%	18,978	16,683	87.9%
地域密着型サービス	10,661	7,405	69.5%	11,211	4,753	42.4%
介護予防 認知症対応型通所介護	779	123	15.8%	814	0	0.0%
介護予防 認知症対応型共同生活介護	8,641	4,641	53.7%	8,726	953	10.9%
介護予防 小規模多機能型居宅介護	1,241	2,641	212.8%	1,671	3,799	227.3%
特定介護予防福祉用具販売	7,854	6,070	77.3%	8,211	6,160	75.0%
介護予防住宅改修	43,393	40,996	94.5%	45,317	46,396	102.4%
介護予防支援	124,724	101,674	81.5%	130,393	110,803	85.0%
総 計	1,144,459	1,021,112	89.2%	1,220,192	1,070,074	87.7%

※ 端数処理をしているため、合算した数値は一致しない場合があります。

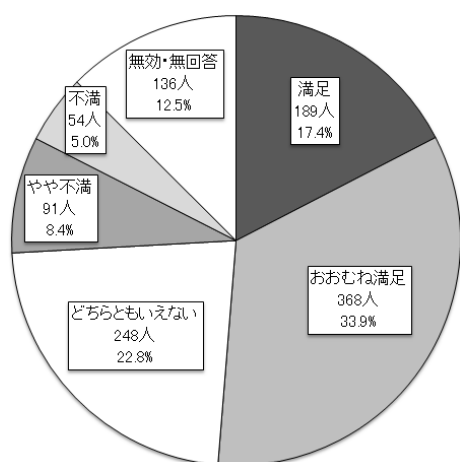
※ 「計画」は、第5期介護保険事業計画を指す。

(3) 介護保険制度の評価

要介護・要支援認定を受けている人に、介護保険制度の満足度を質問したところ、「満足している」、「おおむね満足している」と回答した人が51.3%、「不満」、「やや不満」と回答した人が13.4%となっています。

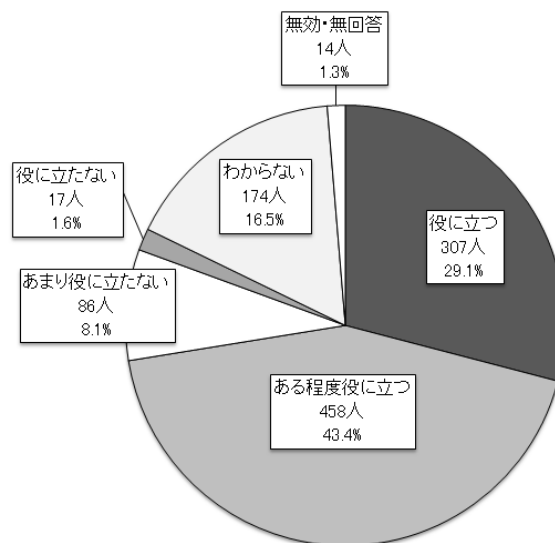
また、認定を受けていない人に、「介護保険の制度は将来役に立つか」と質問したところ、「役に立つ」、「ある程度役に立つ」と回答した人が72.5%、「役に立たない」、「あまり役に立たない」と回答した人が9.7%となっています。

図表18 介護保険制度への満足度



資料：介護保険に関するアンケート結果より作成（回答者数1,086人）

図表19 介護保険制度は将来役に立つか



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果より作成（回答者数1,056人）

介護保険制度の理念

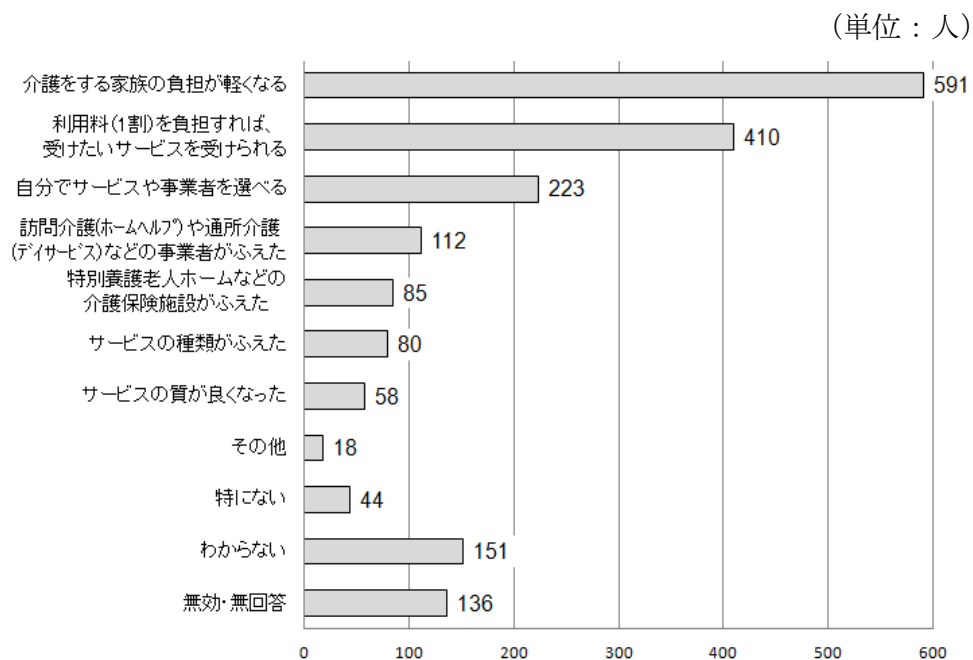
高齢化の進展に伴い、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは今後もますます増大していきます。一方で核家族化の進行、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族の状況も大きく変化しています。

こうした状況から、高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組みとして介護保険制度ができました。

介護保険制度は、単に介護を要する高齢者の身の回りの世話をするというを超えて、高齢者の尊厳を大切に、持てる能力に応じて自立した生活を営めるよう支援することを理念としています。利用者の選択により、多様な保健医療サービス、福祉サービスを総合的に受けることができます。また、受けられるサービス給付と費用負担の関係が明確な社会保険方式が採用されています。

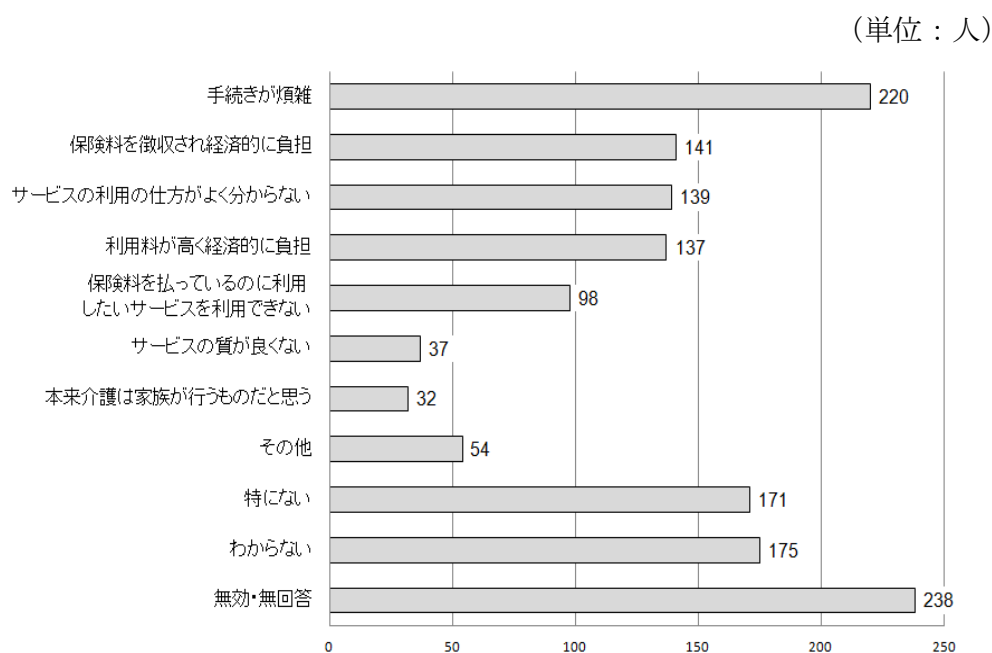
また、介護保険制度の良い点については、「介護をする家族の負担が軽くなる」、「利用料の1割を負担すれば、受たいサービスを受けられる」という回答が多く、反対に、良くない点については、「手続きが煩雑」、「保険料を徴収され経済的に負担」との回答が多くなっています。

図表20 介護保険制度の良いところ（複数回答）



資料：介護保険に関するアンケート結果より作成（回答者数1,086人）

図表21 介護保険制度の良くないところ（複数回答）



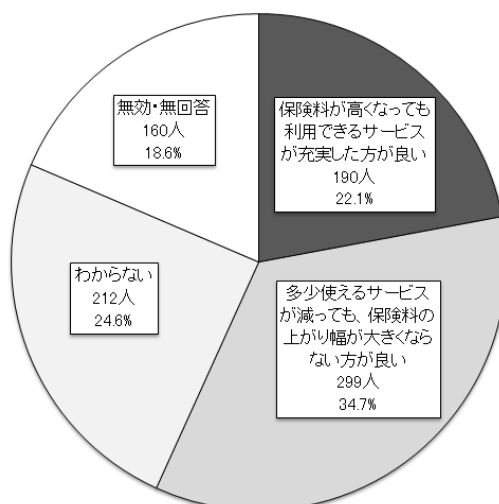
資料：介護保険に関するアンケート結果より作成（回答者数1,086人）

(4) 今後のサービスの水準と保険料のあり方

要介護・要支援認定を受けている人は、「多少使えるサービスが減っても、保険料の上がり幅が大きくなる方が悪い」と回答した人が34.7%、「保険料が高くなっても、利用できるサービスが充実した方が悪い」と回答した人が22.1%となっています。

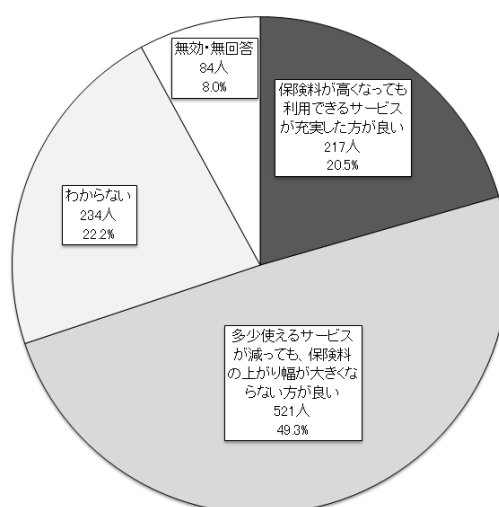
また、認定を受けていない人では、「多少使えるサービスが減っても、保険料の上がり幅が大きくなる方が悪い」と回答した人が49.3%、「保険料が高くなっても、利用できるサービスが充実した方が悪い」と回答した人が20.5%となっています。

図表22 介護保険料負担と給付水準（要介護・要支援認定あり）



資料：介護保険に関するアンケート結果より作成（回答者数861人）

図表23 介護保険料負担と給付水準（要介護・要支援認定なし）



資料：高齢者福祉に関するアンケート結果より作成（回答者数1,056人）